新広域道路交通ビジョン・計画の策定について

資料27

1．国の動き

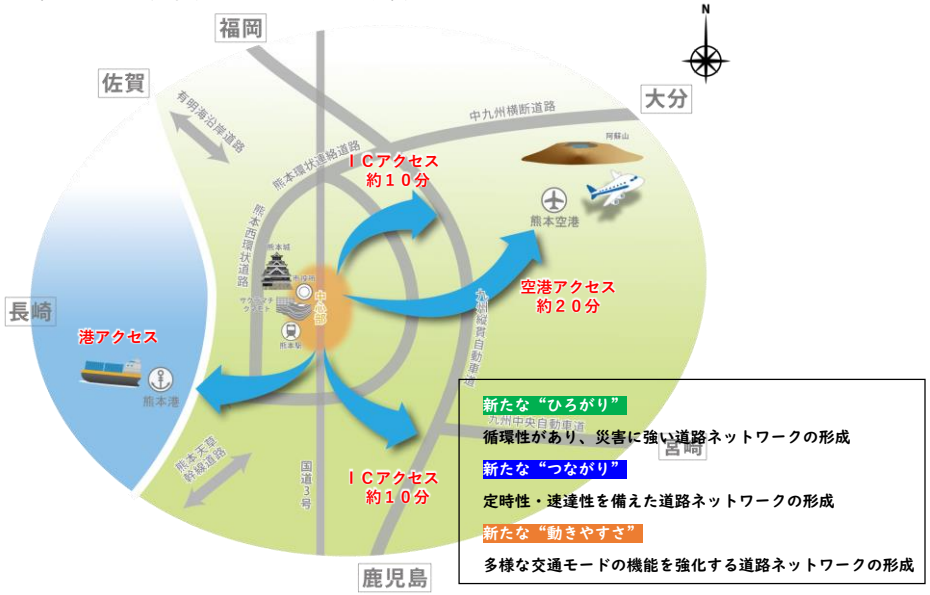
➢ 「防災・減災・国土強靭化のための5か年加速化対策（R2.12.11）」が閣議決定され、高規格道路のミッシングリンク解消等の道路ネットワークの機能強化対策が新たに重点的に取り組むべき施策として位置づけられた。

2．これまでの経緯

	熊本県幹線道路協議会	熊本都市道路ネットワーク検討会
R元年度	協議会（R2.3） ← 成果※報告	・第1回　検討会（R1.6） ・シンポジウム（R1.8） ・第2回　検討会（R1.10） ・第3回　検討会（R1.12）
	R3.3.中旬～	
R2年度	パブリックコメント（ビジョン案 熊本県版）	・第4回　検討会（R2.11）

3．成果※　R2第2回　委員会報告

新たな広域道路ネットワーク機能イメージ



4．新広域道路交通ビジョン案（熊本県版）

目指すべき将来像

【熊本県の将来像】

1. 世界とつながり活力があふれる熊本
2. 地域の特性が活かされ暮らしやすい熊本
3. 災害に強く県民が安心して暮らせる熊本

【熊本市の将来像】

1. 九州中央の広域交流拠点都市
2. 暮らしやすく賑わいが創出された都市
3. 多様な交通手段が連携した都市

広域的な道路交通の基本方針

《広域道路ネットワーク》

- 九州各県を結ぶ循環型高速交通ネットワークの形成
- 地域や拠点間を連絡する道路ネットワークの形成
- 熊本都市圏における円滑な交通ネットワークの形成
- 災害に強い道路ネットワークの形成

《交通・防災拠点》

- 主要な交通拠点における道路と各交通機関の連携強化
- 主要な防災拠点における機能・連携強化

《ＩＣＴ交通マネジメント》

- 自動運転社会を見据えた道路施策の検討
- ＩＣＴを活用した道路情報の収集・活用等

・交流人口の拡大や九州経済のけん引、また災害時の広域支援や代替路の確保のため、熊本市中心部から高速道路ＩＣへのアクセス強化により、循環型ネットワークを構築【高速道路ＩＣまで約10分】

・国内外の交流強化や地域経済の活性化、さらには、日常移動の利便性向上のため、熊本市中心部から熊本空港・熊本港などの広域交通拠点へのアクセス強化により、定時性・速達性を兼ね備えた道路ネットワークを構築　【空港まで約20分】

・日常的な交通混雑の低減、中心市街地の活性化、また交通の選択肢の多様化に資する多様な交通モードの機能を強化する道路ネットワークの構築

5．策定スケジュール

➢ R3.3.中旬～	パブリックコメント（ビジョン案 熊本県版）
➢ R3年度	新広域道路交通ビジョン・計画策定予定